

第1回東海市3R活動地域推進員会議（報告）

とき 令和7年（2025年）6月30日（月）

午後6時30分～

ところ 東海市芸術劇場 中練習室1

1 出席者

(1) 推進員（9人）

緑陽コミュニティ 早川 松之様

名和コミュニティ 二村 典子様

渡内コミュニティ 河本 信幸様

平洲コミュニティ 坂野 栄生様

船島コミュニティ 高松 尚次様

大田コミュニティ 久野 一規様

横須賀コミュニティ 小竹 紀夫様

三ツ池コミュニティ 金原 大悟様

加木屋南コミュニティ 重野 美香様

(2) 事務局（リサイクル推進課）

河田部長、事務局、事務局、事務局、事務局

2 欠席者

明倫コミュニティ 今井 剛様

富木島ふれあいコミュニティ 成瀬 敏彰様

加木屋コミュニティ 伊藤 孝子様

3 傍聴者

1人

4 会議録

(1) 委嘱状交付

(2) あいさつ

(河田部長よりあいさつ)

(3) 自己紹介

(委員自己紹介後、事務局自己紹介)

(4) 議題

ア 3 R活動地域推進員の活動について

(資料に基づき事務局から説明)

【委員】

レポートを3枚貰っているが、全て書く必要があるのか。それとも予備で3枚配られているのかどちらなのか。

【事務局】

予備で3枚配布しているため、1枚で収まるようであれば提出は1枚だけでよい。

【事務局】

もし紙ではなく、データで欲しい方がいれば対応する。

【委員】

レポートは手書きでも大丈夫か。

【事務局】

もちろん問題ない。

イ 3 R推進協議会について

(資料に基づき事務局から説明)

平洲コミュニティ坂野様が3 R推進協議会委員に選出し、承認された。

ウ 第4次東海市ごみ処理基本計画後期計画に基づく取り組みについて

(資料に基づき事務局から説明)

【委員】

ごみ分別アプリは、回覧板等で周知されているものなのか。

【事務局】

以前は回覧板等で周知していたが、昨年度にサービスを終了した。しかし、ごみ処理基本計画後期計画の冊子を作成した時点ではサービスを行っていたため載ってしまっている。アプリのサービス終了以降は、東海市公式LINEに機能を移行し、ごみだけでなく市民の皆様の暮らしにつながる情報を紹介している。

エ 地域における3R活動の啓発について

(資料に基づき事務局から説明)

【委員】

チラシについては、3種類すべて貰えるのか。

【事務局】

すべてお渡しすることができる。欲しいチラシについて、それぞれ希望部数を回答していただければその通りに配布させていただく。

【委員】

廃油や木材資源の回収については多くの方が興味のある内容になるから、ぜひとも回覧したい。そのためにはフォームからコミュニティの回覧部数を回答すればよいのか。

【事務局】

その通りに回答していただければよい。

【事務局】

木材資源回収のチラシについているQRコードのデータは7月1日(火)以降に公開となるため、現在は見るできない。

【委員】

A3サイズでも貰えるという話だが、完成品は取りに行かなければならないのか。

【事務局】

可能であればリサイクルセンターまで取りに来ていただけると大変助かる。完成品については、業者からこちらに届き次第委員の方々に連絡をする。

【委員】

最短でいつ頃できあがるのか。

【事務局】

業者によるが、8月末頃までにはお届けできると考えている。

【委員】

その前に自分たちでコピーをして回覧してもよいのか。

【事務局】

問題ない。白黒でよければこちらでもカラー印刷に比べれば早く用意ができる。

【委員】

希望部数に上限はあるのか。

【事務局】

各地域で回覧する範囲程度の部数であれば基本的に上限はない。

【委員】

掲示板は別で分けて報告すればよいのか。

【事務局】

その通りである。A4サイズとA3サイズでそれぞれ希望部数を報告して欲しい。

【委員】

天ぷら廃油はどこへ持ち込めばよいのか。

【事務局】

リサイクルセンター内にある常設場か毎月第1～第4木曜日に各地域で行っている拠点場で回収を行っている。

【委員】

年配の方が回収場所まで持って行くことができない場合は、町内で集めて持って行ってもよいのか。それとも市に連絡すれば回収してくれるのか。

【事務局】

現在、天ぷら廃油の資源化の機運が高まっているなかで、こちらも回収場所が少ないという点について課題としている。そのため、市民の方々が天ぷら廃油を出しやすいように回収場所を増やすことを検討している。

【委員】

拠点場の実施場所の一覧表はどこかにあるのか。

【事務局】

市のホームページやピンク色のごみ分別冊子「ごみと資源の出し方」に記載している。

【事務局】

現在、天ぷら廃油の出しやすい方法を考えているため、今後機会があれば改めて説明をさせていただきたい。

オ その他

【事務局】

リサイクル推進課の方でキエーロという生ごみ処理機の頒布を9月ごろから予定している。

キエーロは黒土のなかに含まれるバクテリアの力で生ごみを分解する装置である。生ごみを肥料化するコンポストとは違い、キエーロは生ごみを水と二酸化炭素に分解するため、処理後に土の量が増えないことが特徴である。

3,500円での販売を予定しており、今後改めて広報で紹介させていただく。

【委員】

キエーロの購入に対して補助金が出るのか。

【事務局】

キエーロの販売額にはすでに市からの補助が含まれている。

【委員】

その中に生ごみを入れると、バクテリアの力で無くなるのか。

【事務局】

無くなる。夏場と冬場や入れるものによって時間に差はあるが無くすことができる。

【委員】

バクテリアの管理等で土を入れ替える必要はあるのか。

【事務局】

基本的にはない。

【委員】

臭いはないのか。

【事務局】

使い方次第と聞いている。しっかり混ぜて乾いた土を被せることで虫や臭いを抑えることができる。

従来のコンポストほどは悪臭はしない。

【委員】

虫が寄ってくることはないのか。

【事務局】

生ごみを入れて混ぜた後に乾いた土をしっかり被せれば問題ない。

【事務局】

資料にはないが、生ごみ処理機の補助金もあり、8月から交付開始を予定している。対象はコンポストと電動生ごみ処理機である。補助率は2分

の1で、コンポストについては上限5,000円まで、電動生ごみ処理機については上限20,000円で交付をする。

生ごみ処理機の補助金については広報の8月号、木材資源の回収については9月1日号に掲載をする予定である。

【事務局】

各世帯の住んでいる環境によって使用できる生ごみ処理機のタイプが分かれてくるため、各世帯に合ったものを活用していただきたい。

【事務局】

電動生ごみ処理機では入れた生ごみの量を10とした場合、1または2程度まで量が減ると聞いている。そのため、十分なごみの減量につながると思っている。

【委員】

少し戻るが、今までは草刈りを行ったらその草は可燃ごみの日に捨てていたが、それはダメになるということか。

【事務局】

今まで通り出すことはできる。リサイクルセンターへ持ち込むという手段が増えたと思っていただきたい。

今までは燃えるごみとして処分していたが、リサイクルセンターへの持ち込みについては資源化をするという観点でやっているものである。市としてはできる限りリサイクルの方へ持ち込んでいただきたいが、それぞれ地域や家庭の事情があるためそれぞれの事情に応じて使い分けをしていただけならよいと考えている。

終了